

コース名		科目名			対象学年			
臨床医学		臨床解剖			5			
開講学期		科目責任者		副責任者				
1 学期		中田 昌男		横西 哲広				
目的								
臨床における重要な構造を復習し、理解を深める。								
授業到達目標								
1. 臨床的視点から人体構造の理解を深める。 2. 外科的手技に必要な解剖知識を身につける。								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	備考
1~3	4/13	土	1~3	実習	中田昌・宮地 横西・藤井智 佐藤慧・外村	呼外 泌尿器 解剖	呼吸器外科領域の臨床解剖、泌尿器科領域の臨床解剖	
4	4/20	土	1	講義	古市	脊椎・関節	整形外科領域の臨床解剖①	
5	4/20	土	2	講義	射場	脊椎・関節	整形外科領域の臨床解剖②	
6	4/20	土	3	講義	藤原由	消外	上部・下部消化管の解剖	
7	4/27	土	1	講義	古谷	消外	肝胆膵の解剖	
8	4/27	土	2	講義	太田啓	産婦	産婦人科領域の臨床解剖	
9	4/27	土	3	講義	平	乳甲外	乳腺甲状腺外科領域の臨床解剖	
10~12	5/18	土	1~3	実習	畝・山下修 金岡・横西 田淵・戎谷 佐藤慧・外村	心外 形成 解剖	形成外科領域、心臓外科領域、血管外科領域の臨床解剖	
13~15	5/25	土	1~3	実習	菱川・原浩 横西・福田裕 井上智・濱本 佐藤慧・外村	脳外 1 耳鼻 解剖	脳神経外科領域、耳鼻咽喉・頭頸部外科領域の臨床解剖	
	6/ 8	土	2	講義末 試験			講義末試験	
評価方法								
[講義末試験]80% [出席状況（受講態度）]20%（全出席を原則とする。実習・講義の出席状況と受講態度を重視し評価する。遅刻、欠席ともに総合点から4点差し引く。） [評価方法]多肢選択試験、出席・受講態度評価								
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて								
(特になし)								
教科書								
(特になし)								
参考書								
ISBN-9784895928380, 臨床のための解剖学 第2版, キース L. ムーア, アーサー F. デイリー, アン M.R. アガー著, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016 ISBN-9784895928410, ムーア臨床解剖学 第3版, キース・L・ムーア, アン・M・R・アガー, アーサー・F・デイリー著; 長瀬美樹, 尾崎紀之, 竹田扇訳, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016 ISBN-9784890134991, 臨床応用のための画像解剖学, バトラー, ミッチェル, ヒアリー編; 島本佳寿広訳, 西村書店, 2019 ISBN-9784890134878, ワックスマン脳神経解剖学: 臨床に役立つ, ワックスマン著, 西村書店, 2019 ISBN-9784525370527, 新耳鼻咽喉科学 改訂第12版, 切替一郎原著; 加我君孝編, 南山堂, 2022								
準備学習（予習・復習等）								
より有意義な実習にするために、各診療科の講義、解剖学の教材を用いて予習・復習を行う必要がある。各科の予習・復習にそれぞれ60分程度が必要である。								
講義についての注意事項								
十分に予習し、疑問点を持って講義と実習に臨むこと。主体的、積極的な参加が必要です。体調不良により欠席、遅刻する場合は教務課に事前に連絡すること。								

昨年度からの変更点・改善項目

一部の担当科が講義形式となった。担当者が一部変更となった。出席状況（受講態度）の評価割合を30%から20%にした。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

本科目習得後に学ぶ臨床実習Ⅵ履修のために必要な学問である。良医を育成するため、総合的な医学知識習得の他、知性と道徳性の涵養や医の倫理を体得する科目である。

ナンバリング

DPCA502